# 最期の灯火―命尽きるその瞬間まで―の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

## ■アンケート調査概要

| | |
|---|---|
| 調査目的 | 最期の灯火―命尽きるその瞬間まで―の漫画の感想レビューに関するアンケート調査 |
| 調査対象 | 最期の灯火―命尽きるその瞬間まで―を読んだことのある20代～50代の男女25名 |
| 調査期間 | 2025年7月7日～2025年7月8日<br>2025年9月6日～2025年9月7日<br>2025年10月4日～2025年10月5日<br>2026年1月1日～2026年1月2日<br>2026年4月9日～2026年4月10日<br>2026年5月7日～2026年5月8日<br>2026年7月6日～2026年7月7日<br>2026年8月17日～2026年8月18日<br>2026年10月3日～2026年10月4日 |
| 調査方法 | インターネット調査 |
| モニター提供元 | ランサーズ |
| データ使用サイト | https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/saigonotomosibi/ |

## ■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：最期の灯火―命尽きるその瞬間まで―を実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。
Q3：最期の灯火―命尽きるその瞬間まで―を実際に読んだ感想を教えて下さい。

### Q1：年代と性別を教えて下さい。

| | |
|---|---|
| 20代女性 | 1人 |
| 30代男性 | 3人 |
| 30代女性 | 6人 |
| 40代男性 | 5人 |
| 40代女性 | 8人 |

| | |
|---|---|
| 50代男性 | 1人 |
| 50代女性 | 1人 |

## Q2：最期の灯火―命尽きるその瞬間まで―を実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。

～～作品の5段階評価について～～
★★★★★（とても面白かった）：絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい
★★★★（面白かった）：漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。
★★★（普通）：面白いとも面白くないとも言えない。
★★（面白くなかった）：あまり好きではない描写や要素があった。
★（全く面白くなかった）：読んでいて不快・退屈だった。

| | |
|---|---|
| ★★★★★ | 11人 |
| ★★★★ | 7人 |
| ★★★ | 5人 |
| ★★ | 1人 |
| ★ | 1人 |

## Q3：最期の灯火―命尽きるその瞬間まで―を実際に読んだ感想を教えて下さい。

| |
|---|
| 絶望的な物語が好きな人には特におすすめの漫画です。クリーチャーみたいな侵略者と、人間の見た目ではなくなった元人間の男性など、SF好きにはいいですね。けっこうひどい感じのシーンが多いので、苦手な人はきついと思いますが、好きならたまらないと思います。私はかなり好きです。 |
| 最初の画面から圧倒される作品。タイトルも重いですからまあ読者としても覚悟はあるのでしょうが、それを上回る重く切実な作者の思いが強く入ってきている作品です。女の子のかわいい姿が見たいななんて思っている方だと全然違う。SFものだけど、日本でも世界でも戦争は繰り返されている。なのでリアリティは強くあります。 |
| 女の子の体の描き方が好きです。少しリアルな感じで、汚れとかボロボロ感があるのが、こういうジャンルが好きなら刺さると思います。結末はかなりショッキングですが、あくまでも漫画ですから。亡くなったときの表情のままになっているのが妙に不気味でした。 |
| もう、本当に絶望しかない世界観でした。どこにも救いがありません。一瞬だけ、もしかしたら助かるのかもと思わせておいて、そもそも上位存在による遊びに巻き込まれたとしか言えないのです。圧倒的強者、しかも精神性はどこか幼く、人を傷つけることで楽しむ化け物。こんな存在を目の前にした絶望感が半端ない、かなり重めの作品でした。 |
| ひどいのが好きな人はおすすめですが、そういうのが苦手な人はあまりお勧めできません。自分はあまりこういうのが好きじゃないですが、でもよくかけた漫画だと思います、頭に残る絵が印象深かったしもう少しひどさをおさえたらとても面白くなる気がします。ひどいのが好きな人はぜひ読んでみてはいかがでしょうか。 |
| 絵柄が少年、青年漫画向け、人類の終末のような世界感には合っているとおもいます。女性人類の絶望感が漂いすぎているので、絶望顔が好きな方には向いているかもしれません。侵略生命体の方が生き生きしてい |

ます。異形生物が圧倒的な強さで女性人類を蹂躙しているところは、異形生物が好きな方には刺さる作品だとおもいます。j

戦いがある限り、勝つものと負けるものが出て来ます。そして負けた側は人間以下に成り下がってやりたい放題にされてしまう。SF作品ではあるものの、日本だって戦争はあった。特に弱い立場である女性たちはきっと男たちの手に落ちてきたでしょうね。なんとも衝撃的な絵が続くも現実にどこかで起きていた出来事と思うと更に恐ろしい。

強い男性に無理やり（これは異星人ですが）。実際にやったら犯罪ながらそういった趣味趣向をひそかに持っている方は多いのか、この手のジャンルって意外とたくさんありますよね。ですが、そんな中でも最後まで屈することないヒロイン。ここまで強いヒロインは初めて。さすがは兵士です。そんな彼女と屈する仲間たち。いろいろと考えさせられる作品です。

侵略生命体に支配されつつある絶望的な世界感がすごく印象的で雰囲気を盛り上げています。ジーグスという敵キャラが不気味すぎて恐怖感があります。しかも、侵略戦争で男がほとんどいないというのも設定にリアリティあり。家畜繁殖用として扱われるのが猿の惑星っぽくていいです。残党狩りがそのまま見どころになっていて、ハード描写多めですが作風が突き抜けていて最高でした。

無理やり系の中でも、特に無理やり感が強く感じられるのは、イラストの迫力があるからこそでしょうね。こういうのが好きな方だとかなりゾクゾクしちゃいます。まあ自分はそうではないのでなんてかわいそうにというのが先に立ってしまいましたが。殴ることでよさを感じる、それもどうなんでしょう。そんなのがいるから恐ろしい。

とにかく重く、ひどく、暗いです。そこらへんの鬱漫画とはちょっとレベルが違った内容でした。でも、個人的にはしっかりとバッドに振り切っていて救いがないところが逆に良いと思います。中途半端な鬱よりも、このくらいのレベルの方が読んで印象に残るというか。読み手を選ぶ作品ではあるものの、刺さる人は少なくないのでは。

三白眼の瞳はこちらの作者ならではの画風なのでしょうね。お目目キラキラな女の子はやっぱりこちらの作品には合わない。兵隊とか出てきて、無理やりに力で押さえつける。そんな時にこの三白眼が効いてくるのです。圧倒的な世界観で、ガンガンストーリーが進んでいく。好きな人は好きだろうな、ハマっちゃうだろうなと思いました。

カラーイラストが美しい作品も数多くあるものの、こちらは白黒。でもむしろ白黒の方が凄惨さを物語っているかも、というかカラーにすると血の生々しさとかも出てきて、目を背けることとなるのでしょうね。とにかく無理やり、これが征服されたものの真実か。仲間たちが見ていようが関係なし。苦手な人は苦手な分野となってます。

ほとんど女性しか残っていない世界でリーダー自ら突撃したということは、もう絶望的な状況だったということがわかります。もしこの状況になってしまったら、やはりリーダーは基地に残るでしょう。リーダーの女性は決してバカではないと思います。なのに飛び出してきてしまった。つまり、描写されていないだけで細かい罠などがあったのでしょうね。ただ力があるだけではなく知性のある化け物が敵になるというのは本当に怖いです。

絵が気持ち悪くて吐き気がしました。初っ端から目玉くり抜かれてる全裸の女の子の死体を見るのはさすがにキツイです。こんなの読んで面白いって思う人が居るのかな？女の子の顔も全然可愛くないし誰得マンガですね。化け物も気持ち悪いし。通常のマンガに満足できない人にはオススメ出来るかもしれません。

この漫画は、まさに最期の瞬間が一番の見どころだと思います。地球外生命体に対する反乱軍のリーダー。そんな女性の最期は、まさに女性として、そして人間としての尊厳が完全に失われるような終わりになっています。もちろん辛いお話ではあるのですが、一つのストーリーとしてしっかりまとまっているし、最期のシーンはかなり見応えがありました。

ただ人たちを傷つけるだけではなく、尊厳を奪うようなやり方をしてくる敵。自分たちが生きていくために人を家畜化したのではなく、完全に遊ぶための行動です。女にひどいことをして遊んだり、男には改造を施したり。圧倒的な力の差があり、助かる手段はもう無いのだと思います。そんな絶望している世界が舞台なので、登場人物たちはほとんど目に光がありませんでした。

侵略者と、それに対抗するヒロインという構成が素晴らしいです。一見強い系の女性ですが、あえなく堕ちてそのまま…。ひどい系の要素もいきなりあるので注意は必要ですが、この激しさに圧倒されてしまいます。そ

して、捕まった女性の反応もなかなかいい。なぜか侵略者目線でドキドキしてしまう展開。使える要素たっぷりでした。

かなりのハード系ですから、覚悟は必要です。まずのっけから思いっきりやられて動くことさえできなくなった女性が出て来ますから。そして怯えて動けずにいるボー然とした女性たち。バイオレンスとか、かわいそうを喜びに変えられる方向き。まあこのイラストの雰囲気でバイオレンスなのは事前にわかるのでそういう方が集まってくるでしょうが。

最初のところはガチハードなので、そこで引く人もいるとは思いますが、中盤くらいまではそこまで激しいとは思えない展開。最初でハードル上げすぎちゃったかな？と思ったら、最後のオチは衝撃でした。まあ、完全にバッドエンドとは言い切れない部分も。女としては幸せだったのかな？とは思います。それが周囲にとっての幸せかといわれれば微妙ですが。

ハード系だけどイラストはまるで少女漫画。そんなだとちょっと気持ちがなえてしまいます。こちらの作品の場合はそんな心配はありません。内容とってもハードです。そしてイラストもそれにピッタリのものなのです。きれいな絵が欲しいという方だとちょっと違うかもしれませんが、だってみたいのはこのストーリーなのですから大丈夫。

普段はあまりこういうジャンルの漫画は読まないんで、かなり新鮮な気持ちで読めました。無理やり系は結構読むんですけど、そんな生易しい大人向けの漫画とは比べ物にならないくらい悲惨です。ただ、異形相手ではあるんですけど、意外とドキドキできたんですよね。結末の1ページにはちょっとゾワッとしましたけど、大人向けの描写はいいですね。元人間によって無様に堕とされてしまうドキドキ感、悲惨な結末などもそうですが、想像以上に作り込まれた世界観に惹き込まれました。

侵略者に蹂躙される女性の話なんですが、まったく救いがないストーリーで胸くその悪さが半端ないです。侵略者に捕まった女性は家畜化され、繁殖用として徹底的に使われたあとで肉に加工されるというハードな世界観にはしびれるものがあったのですが、いかんせんその部分にページが割かれすぎていて肝心のドキドキできるシーンがほぼなかったんですよね。そこが唯一残念でした。

この悲壮すぎる世界にはこのイラストがピッタリですよね。三白眼のヒロインは、決して美人って言い切れるわけでもないのだけれど、彼女だからこそってことで。それにしてもなんて世界。バイオレンスな展開は、見る人を選ぶのかもしれません。でも壮大なるドラマがあって、自分としては本当におもしろかったと思います。

強い女が徹底的に責められて堕ちていく展開は好みでした。特に、仲間の目の前で…というのがいい。屈辱感もより刺激されるシチュエーションだし、何よりも恥ずかしいという気分が高まるのが最高。描き分けも上手いし、相手の異星人っぽいクリーチャーの不気味さも独特です。SFものとしても読み応えがあって衝撃的な内容でした。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス